

『環の国』実現に向けて、「化学物質と環境円卓会議」への期待

21世紀は環境の世紀。

地球規模の環境問題の重要性を 市民一人ひとりが自覚し、
自分自身の暮らしの見直しを進めることが 求められています。

そして、こどもや孫の世代に 住み良い環境を伝えるのが、
親世代の大きな役目です。

特に、日常生活での化学物質への不安も増大しており、
市民は化学物質とどう付き合い、どう行動すればいいのか、
安心・安全な暮らしの情報を求めています。

“大量生産・大量消費・大量廃棄”の使い捨て社会から、
持続可能な循環社会へ転換が進む “変化の時代”の中で、
的確な情報交流による「産業界・市民・行政の信頼の醸成」が
大いに期待されているのです。